

市長公約の第6次総合計画における取組状況

番号	市長公約	第6次総合計画		令和7年3月末現在の主な取組内容	取組状況
		分野	施策目的		
チェンジ1 広域連携 10万人都市館林実現に向けて、合併を進めます！					
1	板倉町との合併を推進し、邑楽郡内各町との連携を深めます。	行政活動	時代に対応できる自立した持続可能なまちになる	・広域的な婚活イベントを開催 ・(株)サントリーとの包括連携協定による取り組みを実施 ・令和6年度の市総合防災訓練において、1市5町の相互応援協定に基づく訓練を実施 ・1市5町が連携し、高校生世代の入院費や通院費の無料化、带状疱疹ワクチン接種費用の助成を実施	○
2	合併による節約予算約3億円の使途を、都市構想に役立てます。			・広域連携の研究を実施するなど、合併の可能性を模索	△
3	大学誘致による地域活性化を図ります。	まちのにぎわい	人が集まり、市民自らがつくる、にぎわいと魅力あるまちになる	・各種講座を開催 ・東洋大生のインターンシップの受入及び成果発表会を開催	△
4	板倉町、明和町と共同処理しているごみ分別の統一化を図り、更なる資源化を進めます。	行政活動	時代に対応できる自立した持続可能なまちになる	・処理主体である館林衛生施設組合を中心に統一化のための見直し作業を行い、市町間の分別ルールの統一化を実施	◎
チェンジ2 教育・子育て 子育て支援と義務教育期間の負担軽減を進めます！					
5	公立幼稚園・保育園をこども園化し、子育て環境の充実を図ります。	子育て	社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちになる	・北、東、南こども園の3園を開園 ・令和7年度より南こども園新園舎において運営を開始するほか、今後、旧南保育園跡地に仮設駐車場を整備予定	◎
6	空き教室の利活用や、空き店舗のリノベーションにより、学童保育の支援を行います。			・たてくら学童クラブが民家をリノベーションして移転 ・旧南保育園の解体工事契約を締結したほか、学童施設の建築工事に係る入札手続きを準備	◎
7	給食費の無料化を目指します（第3子以降無料化からスタートします）。	学校教育	自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる	・第3子以降無料化を実施（令和3年9月～） ・中学3年生の無料化を実施（令和6年4月～） ・全児童及び生徒に対し、食材費高騰支援事業を予算化	○
8	地場産物を活用し、日本一美味しい給食を目指します。			・地場産農産物や地元製品を積極的に活用 ・学校給食レシピコンテスト、学校給食市民試食会、学校給食センター探検ツアーを開催	◎
9	公立中学校の制服リニューアル化や必要備品のリサイクル体制を強化します。			・生徒・保護者を対象に制服に関する意識調査を実施 ・制服検討会議を開催 ・館林市小中学校PTA連合会においてアンケート実施を検討（実施見送り） ・今後は、館林市小中学校PTA連合会を管轄する生涯学習課とも連携し、必要に応じて生徒や保護者、学校長の意見を聞きながら進めていく	○
チェンジ2 教育・子育て グローバル社会・多様性社会対応の教育、最先端教育を進めます！					
10	英語教育、多様性社会教育を充実させます。	学校教育	自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる	・休み時間等に英語村活動を実施 ・休日に子どもがALTと英語でふれあうイベントを開催 ・複数のALTが学校を訪問する「All English Day」を開催 ・小中学校に専任のALTを配置 ・人権の花運動や人権作文コンテスト、人権教室を開催	◎
		人権の尊重	市民一人一人の人権が尊重され、誰もが安心して平和に暮らせるまちになる	・日本語能力試験補助金事業を実施 ・法務局や人権擁護委員と連携し、人権に関する街頭啓発を実施 ・人権尊重都市宣言記念講演会を開催 ・5年ぶりに中学生海外派遣事業を実施（令和5年7～8月）	
11	民間企業との連携を図り、ICT教育をより充実させます。	学校教育	自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる	・ロイロノート（授業支援ソフト）、ミライシード（オンライン学習ソフト）の活用促進 ・ICT活用指定モデル校による効果的活用事例の周知 ・全児童、生徒へのタブレット導入	◎

市長公約の第6次総合計画における取組状況

番号	市長公約	第6次総合計画		令和7年3月末現在の主な取組内容	取組状況
		分野	施策目的		
チェンジ3 医療・福祉・生活 新型コロナウイルス感染症対策や新しい地域医療体制構築を進めます！					
12	公立館林厚生病院の全科医療体制を目指します。	医療	適切な医療がいつでも受けられるまちになる	・令和4年度から脳神経内科を追加（28科） ・令和5年度から総合診療科を追加（29科） ・令和6年度から乳腺外科を追加（30科）	○
13	館林市邑楽郡医師会との連携による地域医療の整備・充実を図ります。			・医師会と夜間急病診療所及び休日当番医等における協力体制を推進 ・新型コロナワクチン接種において協力 ・おたふくかぜワクチン接種費用の助成回数増 ・带状疱疹ワクチン接種費用を助成	◎
14	新型コロナワクチン対応など、全市民が確実に接種できる体制を構築します。	健康	心身ともに健康で、いきいきと暮らせるまちになる	・令和6年度から、新型コロナワクチン接種は定期接種として実施（令和6年10月～令和7年1月） ・館林市邑楽郡医師会等と協力して実施 ・連携医療機関による個別接種を継続 ・中学3年生又は高校3年生相当の年齢のかた及び妊婦のかたの接種費用を一部助成	◎
15	子宮頸がん予防ワクチン接種を進めます。			・令和3年度から接種対象者へ、ホームページやケーブルテレビなどにより、重点的な周知を実施したことで、接種者が増加	◎
16	高校生世代の入院費の無料化を目指します。	社会保障	市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる	・令和3年度から入院費の無料化を実施（食費含む） ・令和5年度から通院費の無料化も1市5町が連携し、拡充して実施	◎
17	使用済み紙おむつのリサイクル化を検討します。	ごみ・資源	ごみを減らして資源を生かす循環型のまちになる	・紙おむつリサイクルに取り組む民間事業者による説明会を実施 ・リサイクル事業者の動向を踏まえながら継続検討	△
チェンジ3 医療・福祉・生活 誰もが暮らしやすいユニバーサルデザイン化を進めます！					
18	公共交通網整備やデマンドタクシー等、地域ニーズを踏まえた使いやすい移動手段を確保します。	道路・交通交通	人や物が安全で快適に移動できるまちになる	・高齢者通院等タクシー料金補助金 ・高齢者通院等タクシー券の用途制限を撤廃 ・高齢者通院等タクシー券の交付枚数を24枚から36枚に拡充 ・いきいきタクシー券の対象者の一部を高齢者通院等タクシー券に統合 ・路線バスを8路線から12路線に拡大 ・経路及びダイヤ改正 ・電気バスの導入（多々良巡回線） ・バス利用環境向上 館林板倉線「アゼリアモール前」バス停上屋設置	◎
19	企業と連携した障がい者の雇用や農福連携を促進します。	障がい	障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる	・商福連携による「NOVO LABO」の開業 ・農業塾の開催（令和4年度1回実施、令和6年度からは農業青年会議の研修として開催） ・高齢者雇用奨励金の支給 ・Uターン支援奨励金の支給 ・定住新卒就職者奨励金の支給 ・正規雇用奨励金の支給 ・就職困難者・勤労者向け講座の開催 ・地元企業出張ガイダンスの開催 ・農福連携の研修会を実施	◎
		労働環境	生き生きと安心して働ける環境が整ったまちになる		
20	介護人材確保を応援することで、地域包括ケアシステムの充実を図ります。	高齢者	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる	・通いの場へ理学療法士を派遣 ・各種介護予防教室の開催 ・高齢者あんしん相談センター設置 ・高齢者雇用奨励金の支給	◎
21	区画整理事業の促進と生活道路の整備を進めます。	道路・交通	人や物が安全で快適に移動できるまちになる	・道の整備状況（舗装率）72.2% ・橋梁点検結果に基づく修繕措置着手率33.3% ・まちづくりマネジメント法人（館林アーバンデザイン）を開業 ・西部第一南及び中地区の進捗率90%以上 ・西部第二地区の進捗率55%以上	◎
			人や物が安全で快適に移動できるまちになる		
		居住環境	快適な居住環境で暮らしやすいまちになる		

市長公約の第6次総合計画における取組状況

番号	市長公約	第6次総合計画		令和7年3月末現在の主な取組内容	取組状況
		分野	施策目的		
チェンジ4 活力ある産業政策 市内企業の発展と雇用促進、財源確保を進めます！					
22	産業団地新規造成と企業誘致、大型商業施設誘致を促進します。	産業	新しい産業と既存産業が調和して発展するまちになる	・大島工業団地の事業認可を受け、用地買収を実施 ・北部第四工業団地の造成工事を実施 ・食品製造業1社が立地 ・企業訪問を実施 ・新規団地へ多くの企業を誘致すべく協議中 ・幹線道路沿いに大型商業施設誘致を促進	◎
23	公共事業等での、市内企業ファーストを進めます。	情報の共有	市政の透明性を高め、誰もがまちへの愛着と誇りのあるまちになる	・市内企業の育成を実施 ・元請け業者に対して、市内下請け業者を積極的に活用するようホームページで周知	○
24	地産地消を推進し、「A I」や「I o T」など最先端の次世代型農業を支援します。	農業	安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる	・地産地消やブランド化を推進（補助事業） ・ミニマルシェを開催 ・給食に市内産の農産物を積極的に使用 ・つなぐ・まちなかフェス i n たてばやしを開催 ・I C T機器導入支援事業を実施 ・野辺地区のほ場整備事業採択認可を受け、土地改良区を設立し、令和6年9月末から施工中	◎
25	テレワーク・起業支援室を設置し、移住定住を支援します。	労働環境	生き生きと安心して働ける環境が整ったまちになる	・求職者及び勤労者向け講座の開催 ・旧駅前観光案内所3階にコワーキングスペース整備 ・移住コーディネーターの設置	◎
26	館林インターチェンジ周辺の整備・促進を図ります。	産業	新しい産業と既存産業が調和して発展するまちになる	・地権者代表と意見交換等を実施 ・コンサルタント、関係事業者へ開発相談を実施 ・館林I C周辺地区土地利用における都市計画手法の検討を実施	△
チェンジ5 協働のまちづくり 歴史遺産を活かし、市民の声を反映させたまちづくりを進めます！					
27	歴史の小径をみがき直し、城下町館林を市民協働で発信します。	文化	地域の歴史や伝統、芸術や文化に誇りを持ち、魅力ある文化を育み、心豊かに暮らせるまちになる	・武蔵館つつじまつりやお月見会、ハクチョウ写真展、むかし遊び、俳句・盆栽展などを開催 ・歴史的街並み景観創出補助金の交付 ・日本語教室や市民活動団体のイベントや会議スペースとして長屋門を活用 ・まちなか賑わい創出の取組の一貫として、令和5年度から社会実験的に竜の井広場を市民活動団体に開放	◎
		市民協働	市民と行政が共創して発展できるまちになる		
28	市民の声を反映した、市街地活性化を進めます。	まちのにぎわい	人が集まり、市民自らがつくる、にぎわいと魅力あるまちになる	・新築住宅取得支援金交付 ・空き家利活用助成金交付 ・創業塾の受講者が飲食業や小売業を開業 ・商福連携による「NOVO LABO」の開業 ・事業者等に対しコンパクトシティの考え方を周知 ・都市再生推進本部において、情報交換や官民連携の新たな取り組み等を提案 ・（仮称）館林駅東エリアプラットフォームを構築 ・まちづくりマネジメント法人（館林アーバンデザイン）を開業 ・西部第一南及び中地区の進捗率90%以上 ・西部第二地区の進捗率55%以上 ・国や県からの様々な補助制度等を情報共有 ・つなぐ・まちなかフェス i n たてばやしを開催 ・わたしたちの月3万円ビジネス i n 館林を開催 ・店舗ウェルカム補助金交付 ・店舗リニューアル補助金交付	◎
		行政活動	時代に対応できる自立した持続可能なまちになる		
29	つつじが岡パークインの早期再開を行い、青少年の健全育成と観光拠点を創ります。	観光	多くの人から愛される活力と魅力あふれるまちになる	・内閣府のデジタル田園都市国家構想交付金の活用により、リニューアルオープンに向け、施設の改修工事を実施 ・指定管理者が「里沼リゾート H o t e l K O M O R I N U」を開業（令和6年4月） ・自主事業でレストラン営業実施（ランチ・宴会・テイクアウト） ・南側公園のトイレ・管理棟の整備完了整備 ・パークP F Iにより体験型施設開業（キャンプ場（令和6年4月）・BBQ場（令和6年6月）） ・スポーツ振興課や文化振興課との連携により大広間を使用した団体宿泊対応。中学生の職場体験活動の受入、学校行事でのバーベキュー実施 ・季節のイベント実施（クリスマス・白鳥観察会）	◎

市長公約の第6次総合計画における取組状況

番号	市長公約	第6次総合計画		令和7年3月末現在の主な取組内容	取組状況
		分野	施策目的		
30	日本遺産「里沼」の利活用やイベント推進を行い、交流・関係人口を増やします。	文化	地域の歴史や伝統、芸術や文化に誇りを持ち、魅力ある文化を育み、心豊かに暮らせるまちになる	・日本遺産「里沼」を軸とした沼辺文化推進事業の展開 ・日本遺産「里沼」の調査研究と構成要素の拡充 ・郷土の自然や歴史文化の魅力発信 ・観光・産業振興に活かす環境の整備 ・文化財ルネッサンスの開催 ・里沼PRブースの設置 ・里沼巡りウォーキングの開催 ・東武健康ハイキングの開催 ・市有施設共通パスポートの導入 ・Instagramフォトコンテストを実施 ・アニメラッピングバスを運行 ・各種関連公式グッズを作成、販売 ・次世代モビリティ体験イベントを実施 ・アニメラッピング自転車（レンタサイクル）の導入	◎
チェンジ5 協働のまちづくり 次世代へつなぐ安全安心なまちづくりを進めます！					
31	民間企業との避難所協定を結び、避難所及び災害備蓄品の多様性社会対応を進めます。	防災	防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる	・避難所の質の向上のため、トイレ用テントや非常用トイレセット等を避難所に配備 ・災害時における無人航空機（ドローン）による協力に関する協定を締結	◎
32	ハザードブックの活用を深め、広域合同防災訓練を実施します。	防災	防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる	・出前講座の実施 ・防災訓練の実施 ・ハザードブックの改訂 ・令和6年度館林市総合防災訓練において、1市5町の相互応援協定に基づく郡内5町が参加した広域連携訓練を実施	◎
33	館林版SDGsを作成し、次世代につなぐ環境をつくりまします。	行政活動	時代に対応できる自立した持続可能なまちになる	・市民や事業者とともに5つのゼロ宣言を実践 ・電気バスの導入（多々良巡回線）	△
チェンジ5 協働のまちづくり 館林からアスリートを目指す、スポーツ環境の整備を進めます！					
34	多様なスポーツの公式競技仕様の施設を整備します。	スポーツ	スポーツを生活に取り入れ、誰もがスポーツを楽しめるまちになる	・ダノン城沼アリーナの館内空調工事実施	◎
35	2029年群馬国体のレスリング及びボート競技会場を誘致します。			・ローイング、レスリング及び軟式野球（成年男子）の会場地に選定	◎

市長公約の進捗状況		
取組状況	件数	進捗率
◎：達成または計画的に進行中	25	71.4%
○：一部進行中	5	14.3%
△：検討中	5	14.3%
計	35	100%